

施設長 各位

那覇市医師会

会 長 山城 千秋

担当理事 宮城 政剛



日頃より予防接種事業及び感染症対策にご支援ご協力賜り、感謝申し上げます。

令和2年1月29日(金)に「新型コロナウイルス対策緊急専門家会議」が県医・大ホールで開催されましたので、急ぎ要点をご報告致します。(文責 宮城政剛)

☆ 問合せ先：那覇市医師会・事務局（上地・上原） Tel 098-868-7579

.....

新型コロナウイルス対策緊急専門家会議

令和2年1月29日(水)19時より沖縄県医師会で行われました。琉球大学をはじめ県内の市中病院の感染症対策委員、県内保健所、県医師会、各地区医師会、検疫所、消防関係者が出席して会議が行われました。

まず、新型コロナウイルス感染症の流行状況と国の動向、県保健医療部の取り組みが説明され、最後に医療提供体制について説明がありました。

説明順に列記したいと思います。

- トピックとしては、新型コロナウイルスは感染経路として飛沫感染、接触感染が考えられていて感染力としてはSERS, MERSよりは強い。
- 確立した治療法は現在の時点ではない。
- 1月29日の時点で感染症法上の「指定感染症」となったため、症例定義（Ⅰ. 37.5度以上の発熱があり呼吸器症状を呈している。 Ⅱ. 発症から2週間以内に
ア. 武漢市への渡航歴がある、 イ. 武漢市へ渡航歴があり、発熱かつ呼吸器症状を有する人との接触がある）の場合、重症にかかわらず、感染症指定病院受診となる。
- 症例定義を満たす場合、軽症でも入院適応
- 1月末日までに県内の衛生環境研究所で検査体制を整える

◀ 医療提供に関して ▶

- 医療提供体制は県内未発生から発生早期の第一段階から蔓延期にかけて3段階にわけらる。
- 疑似症例（前述の症例定義と同様の定義）発生時には保健所に連絡、定義満たせば、指定病院へ受診
- 疑いのある当該患者が病院受診する場合自家用車で受診できる場合は自家用車で、観光客など交通手段の方法がない場合は保健所へ相談
- タクシー、バス、モノレールなど公共交通機関は使わないように指導

フリーディスカッションでは、琉大の藤田教授よりメーリングが有効であると指摘あり、また同時にフロアから当会那覇医師会から感染症専門医とのメーリングリスト立ち上げの依頼があったこと、また実際出来上がっていると説明がありました。

そのほか、蔓延期の交通手段、ホテルの宿泊、市民への啓蒙、各病院での個別対応問題など白熱した議論が交わされました。正確を期するため詳述は避けませんが、県立中部病院の高山義浩先生から前回の麻疹流行時のようにQ&Aを作成するとの力強いコメントがありました。

以上です。